日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	社会的養護内容

科目基礎情報

開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				

担当教員情報

担当教員	北原零未	実務経験の有無・職種	無

学習目的

1年次の「社会的養護」「児童家庭福祉論」および「社会福祉論」を踏まえて、その知識をさらに深め、具体的な実践力や技術を身につけることを目的とする。とりわけ、施設養護と家庭養護の違いや、それぞれのメリット・デメリットについて改めて事例を踏まえて学び検討することで、社会的養護の意義や重要性を認識するとともに、社会的養護の対象となる子どもたちに対して、自らは保育士として何ができるのか、何をすべきなのかを常に考え、実践できる人材となることを目指す。

到達目標

社会的養護制度の対象となるのは、多種多様かつ極めて深刻な困難を抱えた子どもたちである。 社会的養護の現場における具体的な事例・事案を知り検討することで、1人ひとりが近い将来保育士として、子どもたちに、またその保護者たちに、どのように寄り添い、どのように支援し、ひいては社会に貢献していけるのかを検討し、保育士という職業の重要性・責務と職務の広さを深く理解すること、そして実践力を身につけることを目標とする。

教育方法等

授業概要	1年次の「社会的養護」をベースに、個人ワークおよびグループワークを中心とする。教員による講義形式の座学ではなく、学生主体の時間となる。他者の意見、見解を聞き、また自らの意見を積極的に発することにより、自らの頭で考え、知識を深めることを目的とする。福祉職にはチームワークと想像力が不可欠である。したがって、実際に社会に出てから戸惑うことのないよう、積極的なコミュニケーションを目指す。
注意点	グループワークを中心とするが、課題と関係のない私語等他者に迷惑を掛ける行為は論外 (退席を命ずる)。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。学校が特殊事情として認めた場合を除き、遅刻や欠席は認めない。10分以上の不在 (遅刻・早退・中抜けを問わず)は、欠席と見なす。授業時数の４分の３以上出席しない者には単位を認めない。

評価方法	種別	割合	備　　考
	課題・宿題	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	ワーク	40%	他者との協調性、議論・協議の技術を身につけるために実施する
	レポート	0%	
	成果発表（口頭・実技）	0%	
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画（１回～8回）

回	授業内容	各回の到達目標
１回	復習	子どもの権利擁護と保育者の倫理・責務を再度見つめ直す
２回	実施体系(1)	施設養護的の特性と実際を学ぶ (グループワーク)
３回	実施体系(2)	家庭養護の特性と実際を学ぶ (グループワーク)
４回	支援計画と内容(1)	「自立」とは何か、社会的養護で目指す「自立」について問い直す (グループワーク)
５回	支援計画と内容(2)	自立支援方法の検討 (グループワーク)
６回	支援計画と内容(3)	日常生活支援と心理的支援について理解する、具体例を学ぶ (グループワーク)
７回	専門的技術	社会的養護の専門的技術について総括し、そのスキルを身につける
８回	まとめと振り返り	改めて社会的養護とは何か、そのニーズ、在り方を検討する